

ノーモアヒバクシャ

「原爆と人間」パネル写真展のご案内 ～ ヒロシマ・ナガサキの被爆の実相を知るために ～

広島・長崎に原爆が投下されて今年で81年目となります。被爆者も高齢化している中で、被爆体験を継承し、原爆被害の実相を多くの人たちに伝え広げていく活動が重要になっています。

私たち熊本被爆二世・三世の会は、2012年11月に結成し、この間28回にわたり「被爆体験を継承する会」を開催し、被爆者や被爆二世の方々の証言を聞く場を設定し、その体験を後世にまで残す取り組みを行ってきました。そして、2014年からは毎年8月に熊本県庁を会場にして「原爆と人間パネル写真展」を開催し、一人でも多くの方々に被爆の実相を知っていただくための取り組みを行ってきました。今年も県庁新館ロビー会場をお借りしての開催となります。

短い開催期間ではありますが、ぜひ写真展会場にも足を運んでいただきますようお願い申し上げます。また、皆様のお知り合いの方々にも伝えていただきながら、一人でも多くの県民の皆さんに観覧していただきますようお願い申し上げます。

- **日時：2026年8月5日（水）10:00
～14日（金）16:00 まで**

- **場所：熊本県庁新館1 F ロビー**
(熊本市中央区水前寺6丁目18-1)

- **展示内容：**
 - ◆ **日本被団協作成「原爆と人間」
パネル写真（約30点）など**
 - ◆ **熊本被爆二世・三世の会による
活動報告**



※開催初日（8月5日）12時から被爆体験を語り継ぐつどいを同会場にて行います。

- **主催・・・熊本被爆二世・三世の会**
お問い合わせ先・・・会長 青木 栄 (TEL 090-8663-4837)